第5学年3組 道徳科学習指導案

町田市立　小山小学校
2026年11月13日（金）5時間目
対象　第5学年3組　29名
指導者　教諭　丸山　千聖

1 主題名 「分かり合おうとする心」【B−（11）相互理解・寛容】

2 教材名 「ブランコ乗りとピエロ」（東京書籍 新しい道徳 第5学年）

3 単元構想

（1）児童について（児童観）

本学級では、年度当初より互いの良さを認め合う活動に取り組んできた。帰りの会での「輝き紹介」や感謝の手紙などの継続的な実践により、友達の良さに目を向けたり、トラブルの際にも相手の立場を考えて素直に謝ったりする姿が見られるようになってきている。学習面においても、普段の授業では相手の言葉に耳を傾け、気持ちに寄り添って聞こうとする姿勢が育ちつつある。

一方で、対話や話し合いの場面になると、自分の考えを主張するあまり相手の意見を一方的に否定してしまったり、立場や思いの違いを受け入れにくかったりする児童も散見される。

そこで本時の学習を通して、互いの立場や考えの違いに目を向け、多様な見方や思いを尊重しながら関わろうとする態度を養っていきたい。

（2）教材について（学習材観）

サーカスをまとめるリーダーのピエロはと花形スターのサムは、1 時間という制限で大王にサーカスの演技を披露することになった。日ごろから、ピエロはわがままな言動のサムに腹を立てていた。当日、サムの演技が延長し、ピエロは大王の前で演技ができなかった。しかし、演技後に疲れ切った様子のサムを何度も思い出しながら、立場や考えは異なっていても、観客の心を打つ演技をしようと懸命だったサムの気持ちを理解し、尊重したため、サムを許すのである。

児童には、身勝手な言動で許されるはずもないサムの言動を演技後の様子を何度も思い出し、理解し、サムの立場や考えを尊重するピエロの思いを考えさせたい。そして、相手と分かり合えたことで、ピエロとサムが共演するほど、より良い人間関係を築くことにつながることを感得させたい。

（3）単元について（単元観）

本主題は、小学校学習指導要領解説「特別の教科道徳編」第5学年及び第6学年の「B 主として人との関わりに関すること」の指導事項「（11）相互理解・寛容」自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することを受けている。

人の考えや意見は多様であり、それを相互に認め合い、理解しながら高め合う寛容な態度は、よりよい人間関係を築くために大切なことである。しかし、自分の立場や利害が関係するとき、自分と違う考え方に対して寛容であることは決して容易ではない。そこで、自分も同じ失敗や過ちを犯すことがあるということを自覚し、自分自身を振り返り相手から学ぼうとする謙虚さを持つことが必要である。

そこで、本授業を通して、自分と異なる相手の考えや立場を考え、尊重する気持ちをもたせたい。そして、相手との違いを理解し合い、その違いの良さを生かして、よりよいものが生まれる良さを感得させたい。

4 研究主題に迫るための手だて

【自己理解】

①自己を見つめる発問の工夫

・道徳科における「自己を見つめる発問」は、本校が目指す自己理解の力の育成に大きく関連している。本教材を通して考えを深める過程において、「自分だったらどうしているか」「これから同じような場面でどうしたいか」と、自己を見つめ直し、自分の生活に戻すようにする。

【他者受容】

①違う立場の人の気持ちを理解する工夫

・本教材を通して「相互理解・寛容」という道徳的価値について考えていくにあたり、「ピエロはサムに賛成したのか」ではなく、「なぜ違う立場のサムを理解できたのか」に目を向けられるように発問を工夫する。違う立場の人の気持ちを理解しようとする考え方は、本校が目指す他者受容の力の育成に大きく関連している。

5 本時の学習

(1)本時のねらい

サムをにくむ気持ちが消え、おだやかにサムを見つめるピエロの気持ちを考えることで、自分と異なる考えや意見を尊重し、大切にしていこうとする態度を育てる。

(2)展開

	学習活動　○発問　・児童の反応	・指導上の留意点　○評価(評価方法)
導入	1 友達と考えや意見が合わなかった体験を想起する。 ○友達と考えや意見が合わずに困ったことはありますか。 ・休み時間、サッカーか鬼ごっこかで意見が割れて、遊ぶ時間が減ってしまった。 ・グループ活動の時、発表する時間でもめた。	・意見の違いでもめて、活動が進まなかったり相手に嫌な思いを残したりしたことを思い出させ、自分と違う考えや意見を受け入れることの難しさを捉えさせる。 ・「分かり合うために大切なことは？」と投げかけ、問題意識を高める。
展開	2「ブランコ乗りとピエロ」を読んで話し合う。 ○カーテンの隙間からサムの演技を見上げるピエロは、どんなことを思っていただろう。 ・俺の出番をなくすつもりか。許せない。 ・また自分だけがスターのつもりで偉そうだ。 ・自分だって、大王の前で演技したかった。 ○おだやかな目でサムを見つめるピエロにはどんな思いがあったのだろう。他 (サムに対して) ・サムは頑張っていた。 ・スタートして頑張っているサムはすごい。 ・サムを憎む気持ちを持っていたのは悪かった。 (ピエロ自身に対して) ・どこかで私も目立ちたいと思っていた。 ・観客を喜ばせたいのは、サムも同じだった。 ○人気演目として共演するピエロとサムの気持ちを考えよう。	・自分勝手なサムに対する怒りと同時に自分も大王の前で演技がしたかった悔しさも考えさせる。 他者受容① ・「サムを理解し認める寛容さ」「自分もサムと同じだという謙虚な受け止め方」など相手を受け入れる心を多面的・多角的に考えられるようにする。 ○サムの立場を理解し、受け入れるピエロの気持ちを多面的・多角的に考えている。 (発言、記述)

	（ピエロ）・サムと気持ちが通じてよかった。 ・サムと仲良くなれてよかった。 （サム）・ピエロの気持ちも大事にしたい。 ・自分も悪かった。	・お互いに分かり合えることにより、よりよい関係が築けることを捉えられるようにする。
	3　今までの自分を振り返る。自 〇友達の考えや意見を大切にできたと感じたことはありますか。 ・お互いに意見を主張してけんかになりそうだったので、相手に合わせたが、嫌な気持ちになった。 ・順番を決めて両方の意見が通るようにしたら、お互いに満足できた。	自己理解① ・方法論だけでなく、その行動に至るまでの思いや、行動後の気持ちも考えられるようにする。 〇他者と意見が違った時の自分の行動を振り返っている。（発言、記述）
終末	4　教師の説話を聞く。	・偉人の名言などを紹介し、広い心で相手の立場や気持ちを受け入れようとする態度につなげる。

(3) 板書計画

